

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：老人福祉費

事業名 高齢者の活躍推進に向けた情報収集・発信強化事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 高齢福祉課 長寿社会推進係

電話番号：058-272-1111(内3464)

E-mail：c11234@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,194 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	3,194	1,573	0	0	0	0	0	0	1,621
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

長寿命化が進展する中で、働く意欲のある高齢者の方々がこれまで培った能力・経験を活かして、生涯現役として活躍し続けられるような社会環境を整えていくことが重要である。

本県では、令和2年度より「高齢者の生きがいきづくり応援相談窓口」を設置し、一元的な情報集約・発信により高齢者の社会参加を促進してきたが、コロナ禍の影響もあり、窓口の活用は低調な状態となっている。

このため、あらゆる分野で活躍する身近な高齢者・高齢者団体等取材し、同じように「やってみたい」と思える活躍事例をWEBコンテンツ等で紹介することにより、応援相談窓口の機能を強化し、高齢者の更なる社会参加・生きがいきづくりを促進する。

(2) 事業内容

- (1) 岐阜で活躍する高齢者の取材・広報 (15名)
- (2) 高齢者団体等の優良取組事例紹介 (5団体)
- (3) 全体広報 (新聞広告) (2回)

(3) 県負担・補助率の考え方

・財源：デジタル田園都市国家構想交付金（補助率1/2）【予定】

(4) 類似事業の有無

女性の活躍推進に向けた情報発信費（子ども・女性局）

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	3,146	取材費・広告掲載費等
報償費	32	プロポーザル評価委員報償費
旅費	15	プロポーザル評価委員費用弁償
会議費	1	プロポーザル評価委員お茶代
合計	3,194	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略
岐阜県高齢者安心計画

(2) 後年度の財政負担

期限を定めず継続的に実施

(3) 事業主体及びその妥当性

本県の各種計画に位置付けられており、県が主体となって事業を行う。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

高齢者が培ってきた知識と経験を活かし、やりがいや達成感を感じながら生き生きと生活し、活躍できる「生涯現役社会」の実現を目指す。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標	達成率

○指標を設定することができない場合の理由

本事業は、高齢者の社会参加に向けた支援を行うものであるが、定量的に確認できる調査等がなく、指標を設けることが困難であるため。

（これまでの取組内容と成果）

令和3年度	<p>令和2年10月28日に岐阜県福祉・農業会館内に高齢者生きがいきづくり応援窓口を開設。県・市町村等における高齢者の生きがいきづくりの場についての情報を集約、県ホームページで公開。</p> <p>窓口開設周知のためのチラシを作成し、県内市町村、老人クラブ、シルバー人材センターなどへ配布、周知。</p> <p>これにより、高齢者の社会参加の相談に一元的に対応できる体制を整えた。チラシの配布などにより、窓口の周知、活用推進に努めた。</p>
令和4年度	<p>指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %</p>
令和5年度	<p>指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

- ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)
3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない

(評価)

- ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)
3:期待以上の成果あり
2:期待どおりの成果あり
1:期待どおりの成果が得られていない
0:ほとんど成果が得られていない

(評価)

- ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)
2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている

(評価)

(今後の課題)

- ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

- ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント
又は事業名及び所管課
組み合わせる理由
や期待する効果 など

【〇〇課】